

## 路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	J R 中野駅北口地区の路地
所在地	中野区中野 5 丁目

### 【推薦する理由（路地のよいところ）】

J R 中野駅北口を降りるとサンモール商店街のアーケードが 250 メートルほど続き、その東側に駅寄りから、東西に一番街、二番街、三番街、五番街、狸小路、白線通が、南北に新仲見世、南仲見世の飲食店を中心とした繁華街が続いている。戦前からの繁華街であるが、大戦では焼け野原となり戦後闇市が発達した。中野駅北口周辺は戦後区画整理が行われていないため、闇市時代のまま路地が入り組んでいる。一から五番街や仲見世の通り名は戦前のものと思われるが、白線通は、戦後の名称と思われる。米軍基地周辺の白人米兵相手の売春街を俗に白線地帯と呼んでいた。1957 年 4 月の売春防止法施行後、もぐりで売春をするものも多く、赤線のプロでない素人売春に、白一色の麻雀牌の「白板」をかけたことに由来とするといわれている。

### 【写真添付】



上：サンモール、  
左上：狸小路  
左：二番街、  
右上：新仲見世  
右：白線通り



路地	面積	約 ha	路地の延長	約 m
のまちの概要	成り立ち、特色等	<p>中野の発展は 1889 年の新宿と立川を結ぶ甲武鉄道開通に伴う中野駅の設置に始まり、1896 年には陸軍基地の創設に端を発している。ターミナル駅新宿に直結した利便性により住宅化が進み、さらに軍人とその家族などが中野の住民として増えたことにより繁華街が発達した。</p> <p>戦後、旧日本陸軍の土地に米軍が駐屯し駅前には米軍の物資の横流しもあり闇市が発達、当時は中央線沿線で最も発展した闇市と称された。この闇市が現在のサンモールなど中野駅北口一帯に広がる繁華街を生み出した。</p>		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。